



## 正確な分析結果をスマートに 得るために

Agilent 5800 ICP-OES / 5900 ICP-OES

### 5800 ICP-OES

- サンプルに関する知見を導き出し、正確な分析結果が 1 回で得られるスマートソフトウェアツール
- 機器の状態を診断するツールと、メンテナンスのタイミングを前もって知らせるアラート機能により、ダウンタイムを回避
- 純度 99.99% のアルゴンの使用により、アルゴンのコストを削減
- 垂直配置トーチはデュアルビューとラジアルビューの 2 種類の構成
- 最小の設置面積の ICP-OES

### 5900 ICP-OES

5800 の全機能に加えて次の機能を搭載しています。

- プラズマのアクシシャルビューとラジアルビューを同時に測定できるため、他のどの ICP-OES よりも迅速に正確な結果が得られ、アルゴン使用量は他の機器の半分\*
- 内蔵の 7 ポートのスイッチングバルブにより、サンプル導入と洗浄にかかる時間を短縮

### 時間がかかる主な要因



オンライン調査の結果から、ラボで再測定されるサンプルは平均して 15% にのぼることが判明しました。

また、機器サービスデータを分析したところ、アジレントのサービスコールの 30% は、正しい情報とアドバイスさえあれば、自社内で解決できた問題だったことも分かりました。

### 機器のダウンタイムやサンプルの再測定による時間の無駄を防ぐ スマートツール

Agilent 5800 および 5900 ICP-OES は内蔵センサを搭載しています。これらのセンサがプロセッサとして働き、スマートアルゴリズムと診断機能により、トラブルシューティングを自動化します。この機能によりメンテナンスの最適なタイミングを通知して、結果に影響する可能性のあるトラブルを表示します。

アジレントの ICP-OES は、分析を内部から常に見守り、エキスパートのような視点で分析上のアドバイスをを行い、問題を未然に解決できるシステムです。このスマート機能により、再測定が必要なサンプル数を減らし、分析結果の信頼性を高めることができます。

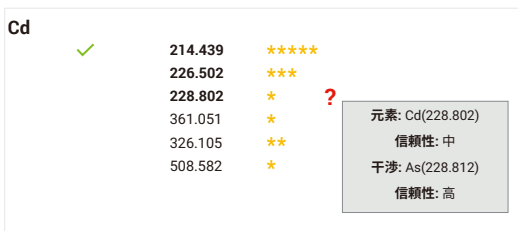
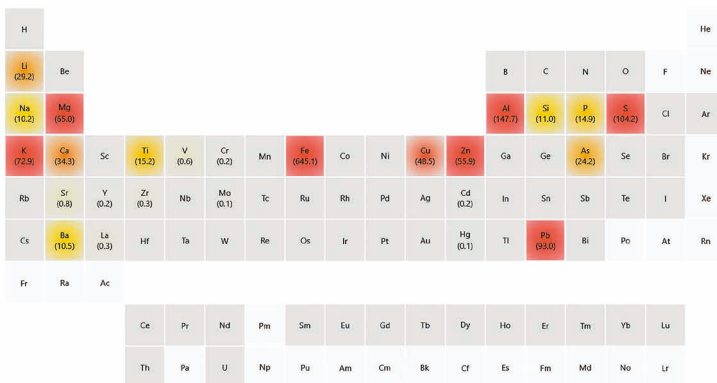
\* アルゴン消費量はアルゴン流量と使用時間をかけ合わせたものになります。  
分析スピードおよびガス消費量の数字は、公開されたアプリケーションデータをもとに、他社システムと比較したものです。

## IntelliQuant — サンプルの組成を探る

IntelliQuant ソフトウェア機能により、サンプルに含まれる元素についての情報と、分析対象物の最適な測定手段が分かります。次のような機能があります。

- サンプルに含まれる最大 70 種類の元素を特定し、周期表ヒートマップ (右図上) で各元素の相対濃度を表示します。
- スペクトル干渉を見つけ出し、使用に最も適した分析波長を推奨します。推奨の度合いは星の数で表され、最適な分析波長を選択する際の目安となります (右図下)。
- 間違っただ酸が加えられた、何も加えられていないなど、サンプル前処理の誤りを見つけることができます。
- 異常値にフラグを付けることで、確認が必要な結果が見つかりやすくなります。

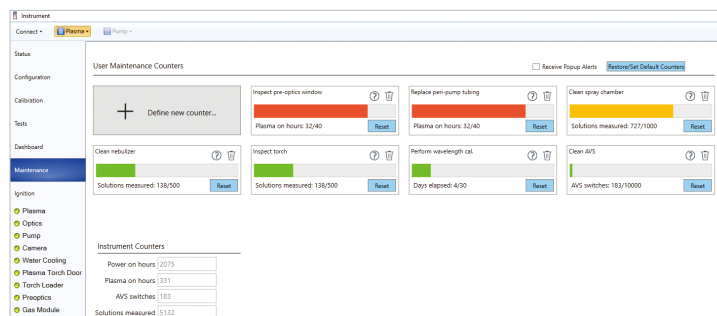
IntelliQuant は、機器の中の頼れるアナリストです。



## 機器の状態をスマートに追跡

適切なメンテナンスを行わないと、大きなコストを伴う予定外のダウンタイムにつながります。また、分析エラーによりサンプルの再分析を余儀なくされ、より時間がかかる可能性もあります。一方で、必要以上のメンテナンスも消耗品コストの増加を招きかねません。5800 と 5900 はどちらも、メンテナンスが必要なタイミングを知らせるセンサとカウンタが搭載されています。カウンタ (右図) は測定されるサンプルの数を監視します。このカウンタは、よく分析するサンプルのタイプに合わせて調整できるため、機器性能の維持に適したメンテナンススケジュールを組むことができます。

状態追跡ツールは、サービスコールの主な原因であるネブライザの詰まり、プラズマの点火トラブルなどに対応しています。分析者にトラブルを知らせ、解決手順を最初から最後までガイドすることで、サービスコールに伴うコストとダウンタイムを回避することができます。



ホームページ

[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

[email\\_japan@agilent.com](mailto:email_japan@agilent.com)

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社  
 © Agilent Technologies, Inc. 2019  
 Printed in Japan, November 19, 2019  
 5994-1506JAJP